



港 防災だより

No.35

2023年（令和5年）3月20日

発行人／四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 加藤 亘

『港 防災だより』について

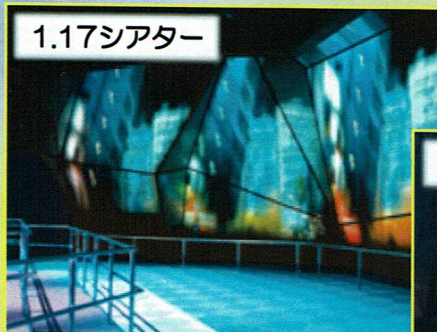
港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。（例：埋立地（地震に弱い）、海岸線（津波に弱い）、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化）これらの問題に対処していく為に重要なことは、住民／企業／行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

視察研修を実施しました

令和4年11月25日（金）
神戸市

令和4年度は視察研修の年として、神戸市へ行きました。神戸市の『人と防災未来センター』では、震災追体験フロア、震災の記憶フロア、防災・減災体験フロアをそれぞれ見学しました。語り部の体験談も聞き、普段から災害時の対応を家族で話しておくことが大切と教わりました。

1.17シアター



阪神淡路大震災の地震破壊のすさまじさを映像と音響で体験した後、地震直後のまち並みを、実物大ジオラマで体験しました。

地震が起こったら、まずはこれらの倒壊家屋から逃げ出すことが必要です。外へ出てからが津波避難のスタートです。

震災直後のまち（ジオラマ）



語り部の体験談

語り部の談話



「約10秒の揺れが5～10分にも感じられた」など体験談を聞きました。

震災追体験フロア

全国のハザードマップが集められ、パソコンで見ることが出来ます。四日市市のハザードマップも見ることができました。



震災情報ステーション

防災連携企業の方にも同行していただきました。顔の見える関係をつくる良い機会となりました。



震災の記憶フロア

復興をたどるコーナー



震災時の写真や体験談が展示されており、震災直後から復興までの様子を見学しました。

防災・減災体験フロア

被災した阪神高速道路3号神戸線の橋脚遺構、神戸港震災メモリアルパークを見学しました。

神戸港震災メモリアルパーク



震災遺構として保存されたメリケンパークの岸壁（約60m）

震災被害を受けた橋脚等を見学しました。

支承



橋脚遺構

伸縮装置

今回の研修では、地域住民にとって普段から防災訓練や防災マニュアルを活用することが、防災・減災に、より一層必要であると感じました。四日市で一番被害が少ない地区を目指しましょう。

令和4年度；港地区総合防災訓練

実施日 令和4年10月23日

【参加者：208名】港地区 166名・連携企業&団体：23名・中部地区市民センター：2名・桑名市大和地区：17名

令和4年度の「港地区総合防災訓練」は10月23日に実施し、昨年度同様に「津波避難訓練」「感染症対策訓練」「避難所運営訓練」を行いました。今年度は【参加者一人一人が実働訓練】を目標にして、海上分団の方にもご協力頂き、屋外での「実演・体験訓練」を加えて実施し参加者全員が実演学習・体験訓練が出来ました。又、避難訓練開始時は各自治会長から本部への「無線連絡の実施訓練」も行い避難しました。特記として、平成30年に防災交流のあった「桑名市大和地区自治会連合会(役員・実行委員)」の方が視察研修にみえました。港地区の要望で【視察だけでなく訓練にも参加】をお願いして参加されました。

《 9月18日；リーダー養成訓練&12月4日；防災訓練反省会 実施 》

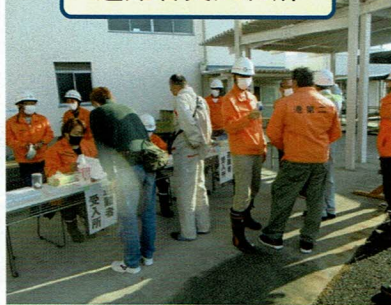
港地区
総合防災訓練
10月23日(日)

8:30 発災
津波避難訓練
「つぎでんでん」で
なやフラザへ集合

感染症対策訓練
市民防衛の指示に従い
迅速、清潔、スクリーニング
避難所運営訓練
条件書の内容に従って
各所で実際に避難所の運営をします

訓練参加にあたって…
① 直に災害発生してからの参加はしなう
② 備が37℃以上ある場合は、休養がよくなる
③ 途中で参加したい場合は、事前に連絡をください
④ 途中で参加したい場合は、事前に連絡をください

避難者受入れ所



令和4年度 港地区総合防災訓練
8:30 発災 津波避難訓練
9:30 避難所運営訓練
10:00 感染症対策訓練
11:30 実演・体験訓練
12:00 訓練終了

避難者受付



実演・体験訓練 (各15分)
10時00分 開始

①三角巾の使い方(海上分団)
②パーティション組み立て
エアマットの使い方(施設班)
③簡易トイレの使い方(衛生班)
④プロパンガスの使い方(市民防)

桑名市大和地区 梶会長&皆さん



①三角巾の使い方(海上分団)



②パーティション組み立て
エアマットの使い方(施設班)



実演・体験
訓練

総務情報班(本部付)
港社協役員&各町情報班員



③簡易トイレの使い方(衛生班)



④プロパンガスの使い方(市民防)



連携企業の方 講評



海上分団長 講評



港地区防災会長 総評



防災訓練に参加して、イザッ！災害時の行動に活かしましょう！

港第二市民防災隊スキルアップ訓練

実施日 令和4年11月20日

私達、市民防災隊は日頃から災害時に備え訓練を実施する中で、毎年一回の「スキルアップ訓練」を実施しています。令和4年度は、港地区管轄の「防潮扉開閉訓練&防波堤視察」をテーマに、11月20日に行いました。「防潮扉開閉訓練」は、四日市港管理組合(2名)の方に指導を頂き、千歳町・尾上町・高砂町・稲葉町の順に開閉実働訓練をしました。防潮扉の開鎖方法は場所により若干違うので、身に着く体験・勉強になりました。

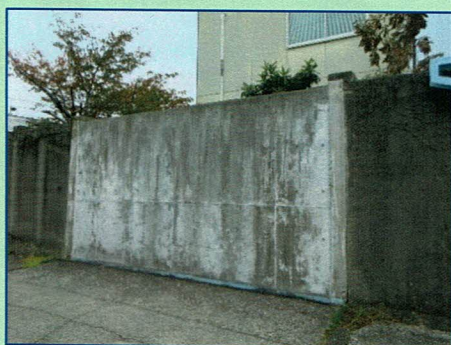
その後「稲葉水門」の説明を受けて、次行程の「潮吹き防波堤視察」に移動しました。「潮吹き防波堤」は、防波堤の裏側の

状態確認をして、【潮吹き穴】の裏側は、コンクリートで塞いでいる事も分かり、良い学習をすることが出来ました。

No.123(千歳町)



かつて防潮扉があった部分を現在はコンクリートで閉じている箇所もあります。



No.131(千歳町)

扉の種類によっては閉鎖する際に鉄板を外す作業が必要な場合があります。

稲葉水門は四日市港管理組合が遠隔操作をしています。

稲葉水門



No.196(高砂町)



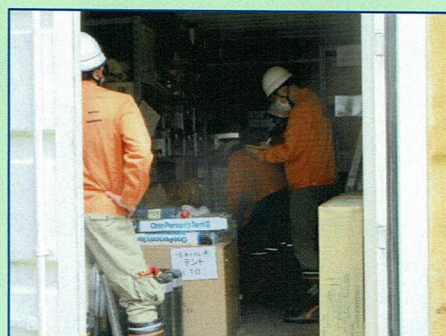
No.200(稲葉町)



スキルアップ訓練終了後は、月例の「可搬ポンプ」の点検と「四日市市防災コンテナ」の備蓄品の数量確認をして解散となりました。



可搬式ポンプ点検



潮吹き部分は現在閉じられています。



納屋防災緑地にある四日市市の防災コンテナを点検中。

■ 各種総会・会議・研修会・説明会等について

◇第8回レスポンシブル・ケア四日市地区地域対話【令和4年10月28日（金）】

◇港地区パイプライン協議会【令和5年3月】（書面にて報告）

■ 防災運営委員会

「防災運営委員会」は「防災役員会」で出た意見・要望を「防災運営委員」と共に検討・意見交換をしていく組織です。

また、毎月の委員会にはグループ長企業の方に輪番で出席して頂いています。委員会では「港地区の防災運営・企画」などを議題にして立案していますが、企業さまについては、企業としての目線で、ご意見を貰い「**港地区の防災に関わって一体となって防災活動**」に取り組んで参ります。

今後も「**港地区住民と地元企業との絆**」を絶やさずに邁進して参ります。



■ 防災マニュアル改訂委員会

皆さま、お待たせいたしました。

「読めばわかるマニュアル」から【見ればわかるマニュアル】をテーマにした港地区の新しいマニュアルが完成しました。令和2年5月28日～令和4年12月23日に及ぶ約2年半もかかり、委員会も後半は毎月2回で毎回22：00迄が当たり前となり、意見を出し合い検討して進めて参りました。又、プログラミング・レイアウト等、地域マネージャーの多大なフォローを得て作成しました。港地区の防災マニュアルは、環境条件に合わせてその都度改訂を行ってきており、今回のマニュアルはスタート時には先輩たちが作成していただいたマニュアルを基に、現時点での環境条件に合わせて「修正」を進めていましたが、疑問点も多く、四日市市危機管理課・四日市港管理組合・なやプラザ管理者等に確認する事項も多くありましたので、根本的に改訂しないと進まなくなり、方向性を変えて、現状と合致している内容は既存の文献を転用し新規に作成することにしました。（15回目まで修正し、16回目から56回目までが変更し新規作成！）新規に作成としたので、「私たちのまち（港地区）の防災（その1・その2）」を「私たちのまち（港地区）の防災【行動編；災害時の対応など】と【様式集；書類等の原本】」に変更しました。港地区の皆さまには「私たちのまち（港地区）の防災【行動編】」が、清原連合会長の意向で各世帯に配布されます。災害時には「私たちのまち（港地区）の防災【行動編】」は万能ではありませんが、災害時や防災活動に活用していただけたら幸いです。

私たちのまち(港地区)の防災
【行動編】



令和4年度改訂版

港地区自治防災協議会
港地区連合自治会
港地区社会福祉協議会

私たちのまち(港地区)の防災
【様式集】



令和4年度改訂版

港地区自治防災協議会
港地区連合自治会
港地区社会福祉協議会

■ お知らせ



令和4年度もコスモ石油株式会社四日市製油所様から、防災資機材の寄贈をご提案頂きました。港地区とコスモ石油株式会社四日市製油所様との協議の結果、避難所運営時にも使用できる「ランタン」を寄贈していただくこととなりました。港地区のために、色々と考えて下さるコスモ石油株式会社四日市製油所様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

《防災運営委員会》

加藤 亘
豊田 成彦
松田 裕文
清原 茂
吉田 泰宣
伊藤 浩助
長谷川 雄俊
藤田 日出美
瀬川 宏

《自治会長》

倉矢 隼太
大野 正司
伊藤 庸祐
伊藤 浩助
町田 光夫
大橋 洋
三浦 恭久
松田 裕文
藤村 舞
高尾 信俊
長谷川 雄俊
寺井 勝

《防災隊長》

下田 智宏
川島 孝之
橋本 幸生
藤田 日出美
水谷 哲
岩崎 義昭
瀬川 宏
堤 利臣
横井 輝重
藤村 洋平

(順不同)

《防災連携企業》

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所
風薫会	協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)
コスモ石油(株)	佐藤クリニック	三エスゴム(株)	JSR(株)
昭和電工ガスプロダクツ(株)	住友電装(株)	第一工業製薬(株)	
大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	
高砂建設(株)	中部海運(株)	中部電力ミライズ(株)	
中日本建設(株)	東ソー(株)	東邦ガス(株)	東陽興業(株)
日本板硝子(株)	日本海事検定協会	日本カニゼン(株)	
日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)	日本トランスシティ(株)	
(株)ニヤクコーポレーション	林興業(株)	三菱ケミカル	
(株)	四日市海運(株)	四日市電機(株)	四日市港郵便局

(五十音順)